

在宅介護・地域包括支援センターの 評価について

地域包括支援センターの事業評価について

介護保険法の改正により、市町村及び地域包括支援センターは地域包括支援センターの業務について評価を行うとともに、機能強化に向けた必要な措置を講じなければならないとされた。

「地域包括支援センターは、介護予防ケアマネジメントや包括的支援事業等の実施を通じて、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としており、今後、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上で、その機能強化は重要な課題である。」

「地域包括支援センターが、その機能を適切に発揮していくためには、地域包括支援センターごとに業務の状況を明らかにし、それに基づいた必要な機能強化を図っていく必要がある。」

平成30年7月4日 付老振発0704第1号「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)」抜粋

国による評価指標の課題と本市の対応

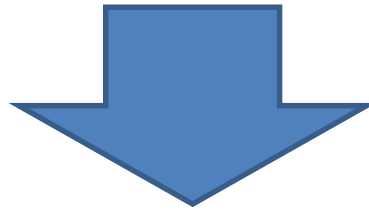
国の評価指標は全国統一のものであるため、この指標のみでは本市における施策の方向性や地域性等に応じた各センターの特性を把握しきれない。

課題 1

本市では小地域完結型の相談体制を整備する中で、市、基幹型地域包括支援センター、各在宅介護・地域包括支援センターが方針を共有化し、緊密に情報共有と連携を図っているため、国による評価指標ではセンターの評価結果が均一化し、差が生じない。

課題 2

担当地区の地域性やセンター独自の工夫などの状況が把握できず、評価を通じた本市独自施策の方向性、優先度の意識付けも困難。



本市の対応

センター毎の課題を明らかにすると同時に、本市施策に応じたきめ細かい評価項目を設定する必要があることから、国の評価指標に本市独自の項目を加え、より詳細に各センターの活動実績を把握。

評価項目の追加と分類の分割、追加

- 本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加。
- 「事業間連携」として一括りにされていた分類を3つに分割。
- 「市単独事業及び重点取組項目」を追加。

国の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

事業間連携

武蔵野市の分類

組織運営体制

総合相談支援

権利擁護

包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

在宅医療・介護連携

認知症高齢者支援

生活支援体制整備

市単独事業及び重点取組項目

活動実績をよりきめ細かく把握し、評価する。

追加

追加した評価項目（別紙「市独自評価項目」参照）

- 国の「運営状況調査票①」に、本市単独事業や重点取組事項に関する項目を追加
- 計6項目について、31問を追加

総合相談支援 **3問**

認知症高齢者支援 **4問**

権利擁護 **1問**

生活支援体制整備 **4問**

包括的・継続的
ケアマネジメント支援 **5問**

市単独事業及び
重点取組項目 **14問**

追加した設問(抜粋)

総合相談支援

- ・サービス未利用者実態調査は完了しましたか。
- ・相談事例解決のために他機関と連携して取り組んだ件数は昨年度実績を超えていますか。

権利擁護

- ・全ての虐待事案について、通報から事実確認まで48時間以内に対応していますか。

包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・地区別ケース検討会の開催目標数は達成できましたか。
- ・サービス担当者会議への同席回数は何回ですか。(数字記入)

認知症高齢者支援

- ・認知症サポーター養成講座の開催数は何回ですか。(数字記入)
- ・認知症初期集中支援事業を実施しましたか。

生活支援体制整備

- ・生活支援コーディネーターによる地域資源立ち上げ回数は昨年度実績を超えていますか。
- ・第2層の協議体への参加回数は昨年度実績を超えていますか。

市単独事業及び重点取組項目

- ・いきいきサロンの新規開設目標数を達成しましたか。
- ・家族介護教室は計画どおり開催しましたか。

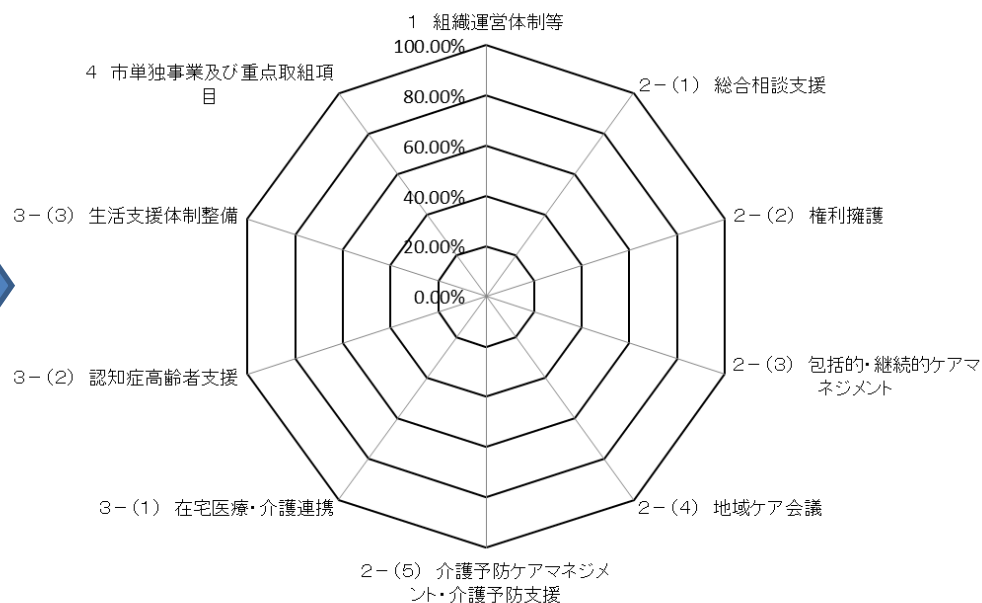
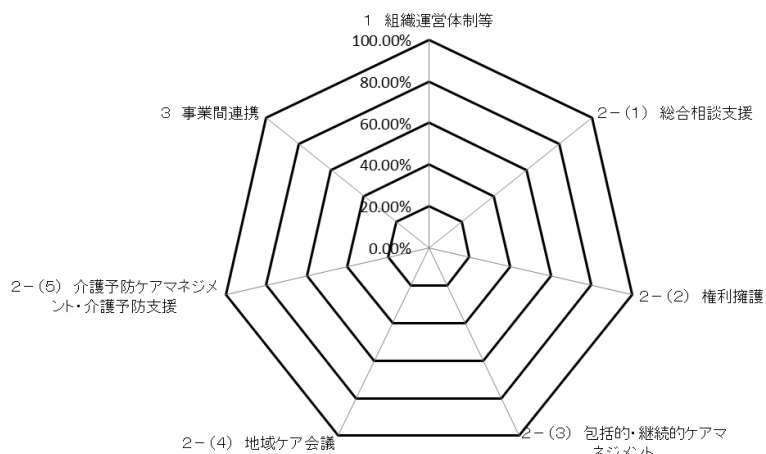
レーダーチャートのイメージ

○評価結果はレーダーチャートで表示。

○分割、追加した分類により、レーダーチャートも7角形から10角形に細分化。

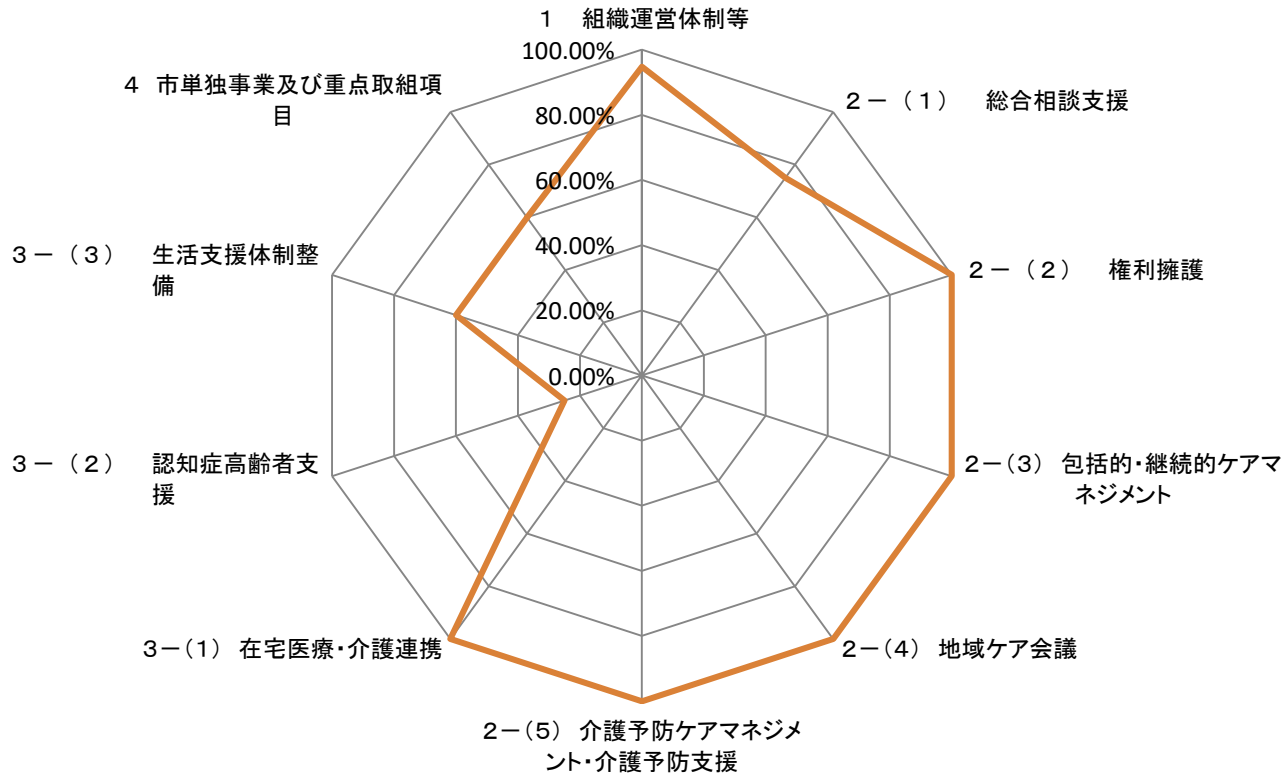
国のレーダーチャート
(7角形)

武蔵野市のレーダーチャート
(10角形)



ゆとりえ

在宅介護・地域包括支援センター



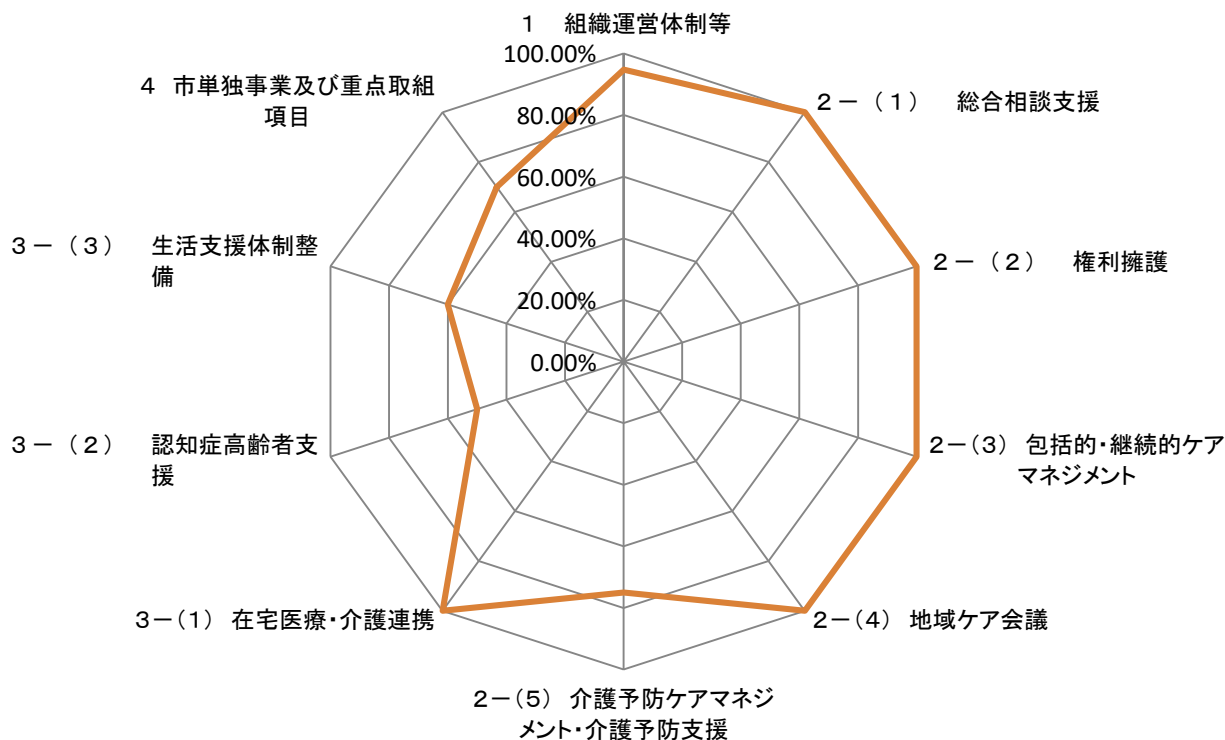
○「地域との関わり」が高いことや、サービス未利用者の継続的支援を評価。

○地域住民と共催して認知症カフェ「カフェ♡君の名は」を定期開催。

○3- (2)「認知症高齢者支援」が低いのは、「認知症初期集中支援事業」の実績がなかったことによる。

○3- (3)「生活支援体制整備」、4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。

吉祥寺本町 在宅介護・地域包括支援センター



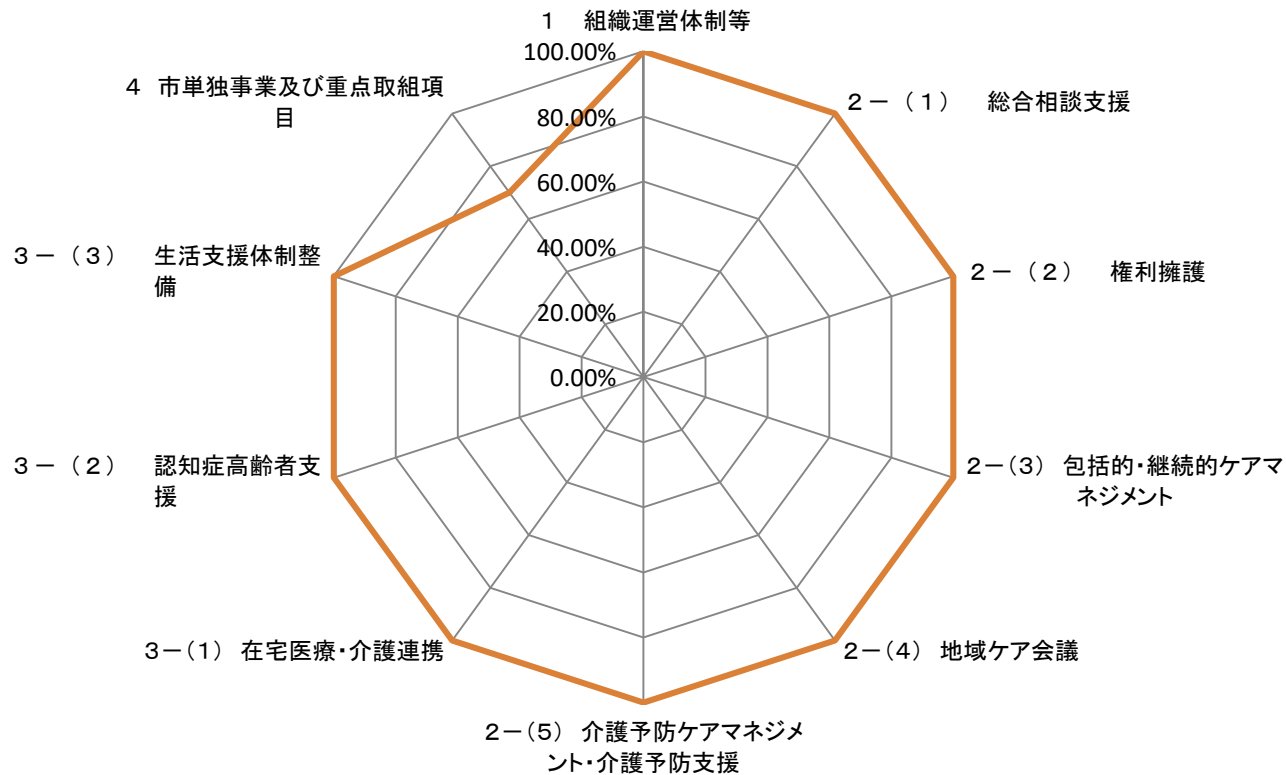
○地域住民の力や地域資源を活かした活動を評価。

○介護予防・重度化防止を目的とした福祉型高齢者住宅入居者の実態把握、サービス未利用者への実態把握は評価。

○3- (2)「認知症高齢者支援」が低いのは、「認知症初期集中支援事業」の実績がなかったことによる。

○3- (3)「生活支援体制整備」、4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。

高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター



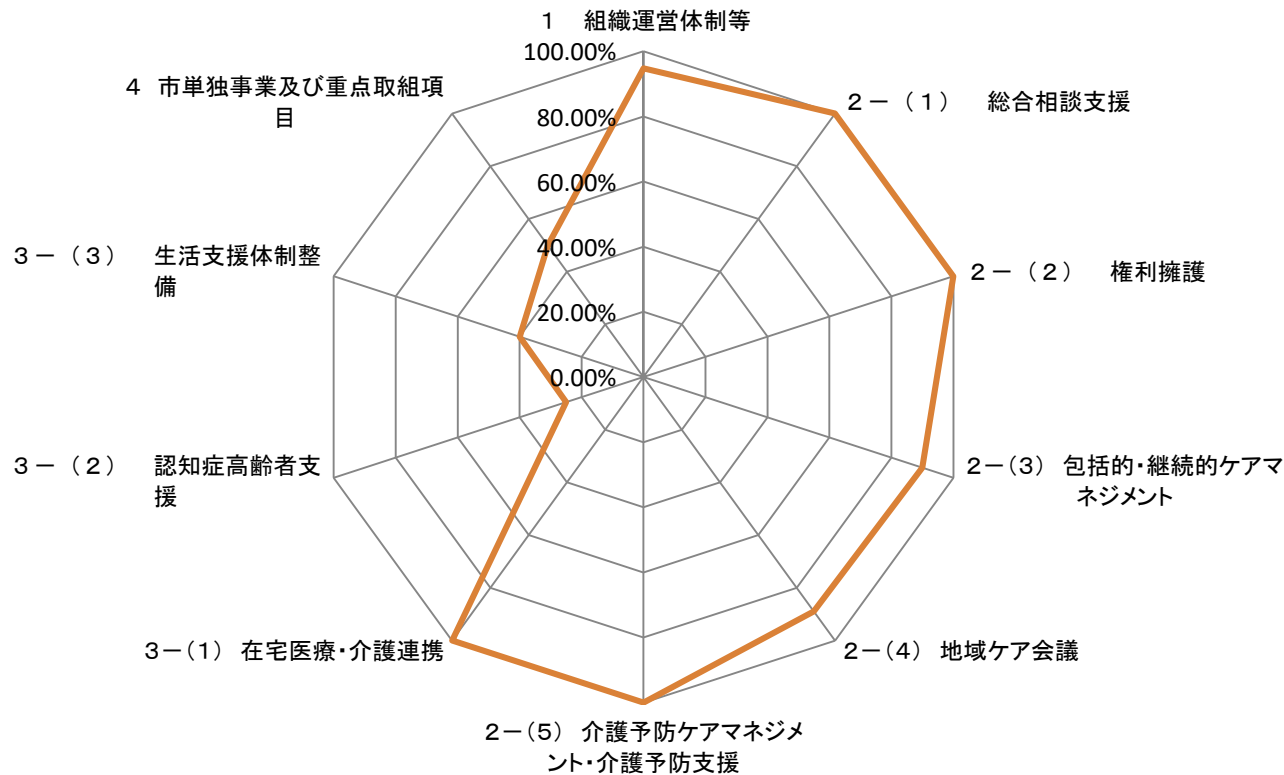
○高齢者数、独居高齢者数、生活困窮者数等の多い地域であるが、困難ケースや認知症高齢者、精神疾患等への支援や緊急対応、安否確認等に対しても、組織的に積極的に対応していることを評価。

○4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことや、市単独サービスのモニタリングが一部できていなかったことによる。

吉祥寺ナーシングホーム

在宅介護・地域包括支援センター

平成30年度 活動実績



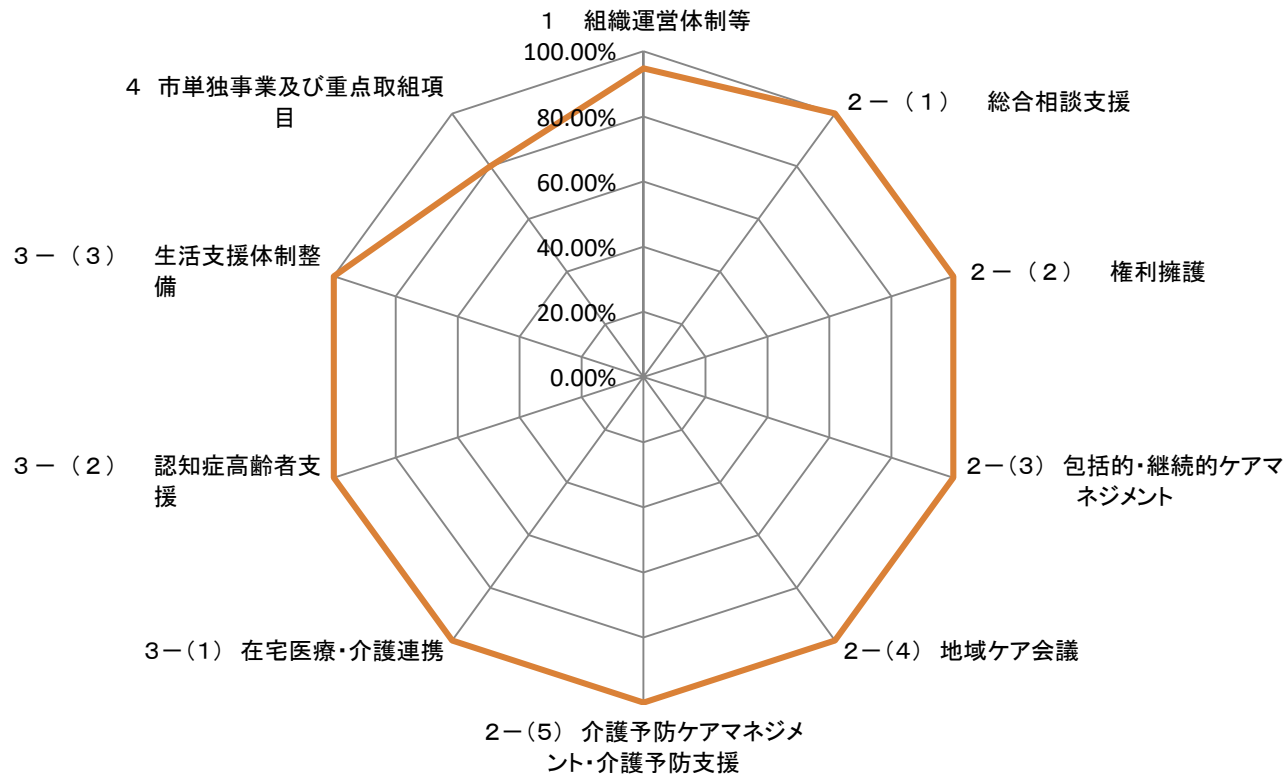
○地域社協の運営委員会や活動の場に積極的に参加し、地域のネットワークの構築や地域の実態把握に努めている点を評価。○マネジメント力の向上、ケアマネジャー支援、スーパーバイズ機能の向上のために、積極的に介護・予防プランを作成していることを評価。

○3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、「認知症初期集中支援事業」の実績がなかったことによる。

○3-(3)「生活支援体制整備」、4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。

桜堤ケアハウス

在宅介護・地域包括支援センター

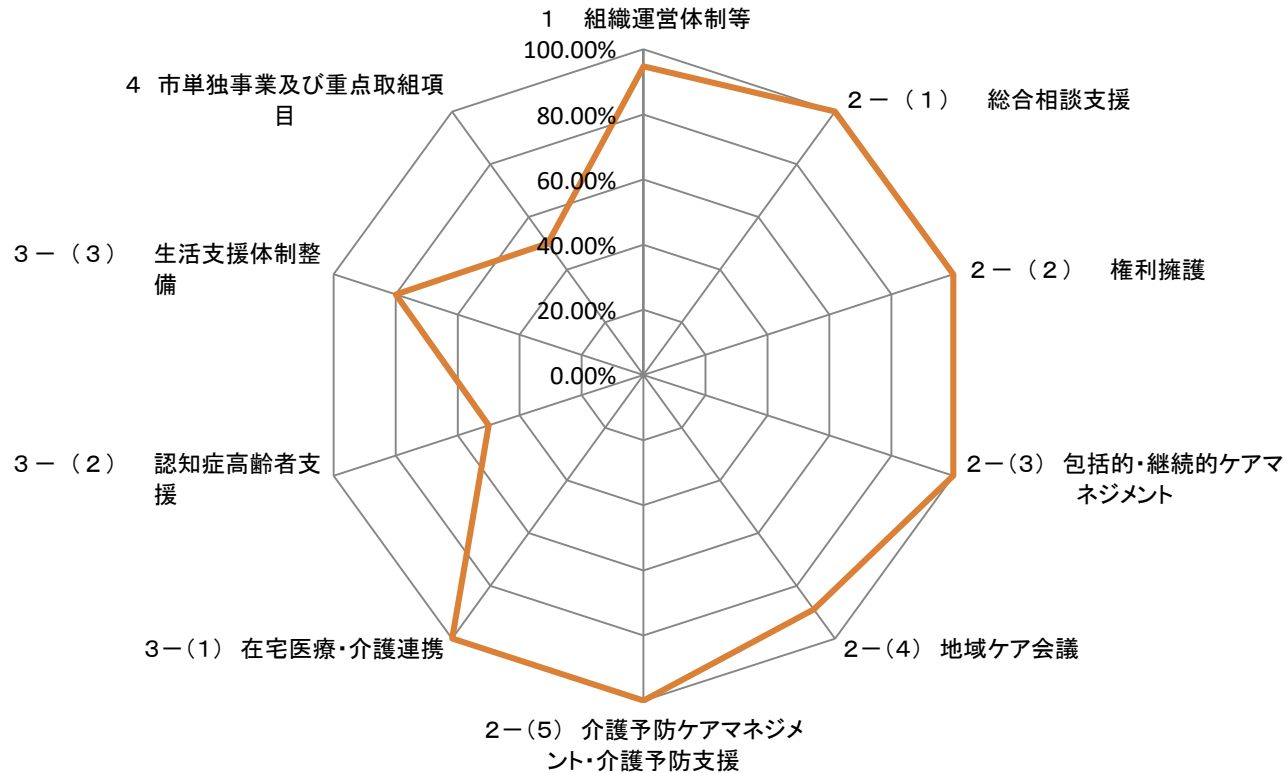


○どの項目についても対応できていること、安否確認や緊急対応、困難事例の対応に積極的に取り組んでいることや、地域との関係づくりへの取組も評価。

○3- (3)「生活支援体制整備」が高いのは、今年度立ち上がった2か所、既存の7か所、計9か所のいきいきサロンの運営が軌道に乗り、順調に活動できていることを評価。

○4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。

武蔵野赤十字 在宅介護・地域包括支援センター



- 武蔵野赤十字病院内に設置されたセンターとして医療連携のスキルがあるという強みを生かしている。
- 3-(2)「認知症高齢者支援」が低いのは、「認知症初期集中支援事業」の実績がなかったことによる。
- 4「市単独事業及び重点取組項目」が低いのは、当初設定した数値目標を達成できなかったことによる。